

北九州市立中尾小学校  
学校だより  
令和7年 7月11日号  
校長 上 赤 義 人

学校教育目標  
すこやかに、 おおらかに、  
たくましく伸びる児童の育成

## 平和について考える ～夏休みにしたいこと～

ある新聞記事にこんなことが書かれていました。

『修学旅行で5月に長崎を訪れた横浜市の公立中3年の男子生徒数人が、爆心地周辺を案内していた被爆者で語り部の森口貢さん(77)に「死に損ない」などの暴言を吐き、森口さんが学校に抗議していたことが分かった。』

この記事を読み、とても寂しい思いがしてきました。きっと、暴言を吐いた子どもたちも平和に関する授業を受けただろうに、命について考えたこともあっただろうに…。学校で、家庭で、社会（地域）でもっと戦争の悲惨さや命の尊さ等についてもっと語っていく必要があることを痛感しました。

本校では、6月30日(月)～7月11(金)を校内平和週間として、平和について考える学習をしたり、6年生が修学旅行で訪れる大刀洗平和記念館に持っていく平和への願いをこめた折り鶴を全校児童でつくります。

1年生 「へいわとせんそう」について考える

2年生 「忘れた森のヒナタ」 戦争の悲しみについて考える

3年生 「ぼく、もっと生きたかった」戦争と命について考える

4年生 沖縄戦について考える 教室の学級文庫等を活用しながら

5年生 沖縄戦「ひめゆり」 戦争の悲惨さや命の尊さ等について考える

6年生 沖縄戦「さとうきび畑」や八幡大空襲等を通して考える

さくら・たんぼぼクラスのみならずも交流クラス等で学習をすすめます。



夏休み中に8月6日（広島原爆投下）、8月9日（長崎原爆投下）、8月15日（終戦記念日）がやってきます。

9月18日（満州事変勃発）、12月8日（太平洋戦争開戦）など、平和（戦争）にかかわる日であることはご存じだと思います。

私たち教員にとって大切なことは、これらの出来事を知っていることではなく、日々の学校生活の中で平和（広い意味で人権）にかかわることに高いアンテナを立て、子どもたちにタイムリーに語りかけることのできることはないかと思えます。そして、それが子どもたちの「命を大切にする」という心を育てることにつながってほしいと願っています。

それから、命には偶然性（今ここにいる不思議）、有限性（いつか終わりがあること）、連続性（ずっとつながっていること）があるからこそ、『大切なんだ』ということ子どもたちと一緒に大人である私たちも再認識したいものです。

今年は、戦後80年を迎えます。各ご家庭でも、夏休み期間中に是非、「平和の大切さ」「命の尊さ」等について子どもたちと話をしてみてください。

偶然でしょうが、この「だより」を作成している今日は、6月23日です。沖縄戦が組織的に終結した日、「沖縄 慰霊の日」です。

### 夏休みにも、子どもたちの安心・安全を守る

熱中症・水難事故・交通事故・ネットトラブル・不審者対応・異常気象など、夏休み中にも、子どもたちの周りには、危ういことが少なからずあります。

日ごろから、「そうならないためにどうするのか?」「そうなった時はどうするのか?」など、各家庭で話し合い、ルール等を決めておくことも必要かもしれません。

### 保護者の方へ

#### ★個人懇談会について

7/15～17に保護懇談会をいたします。お忙しい中、多くの保護者の方に来校していただけることに感謝いたします。限られた期間だったので、参加できない保護者の方もいらっしゃると思いますので、ご心配なこと等があれば、いつでもご連絡ください。よろしくお願いします。

#### ★学校評価アンケートについて

夏休み前に、tetoruで学校評価アンケートを行います。本年度の4月～7月を振り返るとともに、夏休み明けのこと等についてのアンケートです。アンケート結果を踏まえ、今後の学校運営に生かしていきます。お忙しいとは思いますが、7月末までの回答をお願いします。

